

Ⅷ 新型コロナウイルス感染症にかかる取組みについて

1. 概況

新型コロナウイルス感染症は令和5年（2023年）5月に2類感染症から5類感染症に移行した。しかしながら、大阪府から府内の医療機関に対して病床確保要請が行われるなど、引き続きの対策を行った。

経営面では、令和5年度の新規入院患者数は15,503人(前年度比約1,481人増)、病床利用率77.6%(前年度比約5.9ポイント増)となり、医業収益は約15億円の増収。国・府補助金額の減少により医業外収益は約19億円減収。結果、純損失は約6億5,000万円となった。

2. 院内の主な取組み

令和5年2月20日 病床の縮小（35床→19床）（3階北病棟：17床、ICU：2床）
 3月1日 面会制限の緩和（フェーズ1）（対面面会開始・オンライン面会休止）
 5月8日 病床の縮小（19床→18床）（3階北病棟：17床、ICU：1床）

3. 新型コロナウイルス感染症患者数

(1) 入院受入患者数

令和5年		合計 (4月1日～5月7日)
4月	5月	
9	3	12

(2) 発熱外来患者数

令和5年		合計 (4月1日～5月7日)
4月	5月	
63	16	79

4. 新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催回数

年	月	開催回数
令和5年	4月	2回
	5月 (5月8日開催)	1回
合計		3回

※5月9日以降は新型コロナウイルス感染症対策会議として、令和6年3月31日までに11回開催（うち9回メール会議）。